

2024年3月26日

株式会社博報堂DYホールディングス

**生成 AI 技術を活用したコミュニケーション促進サービス
「AI ラップ名刺 MY PUNCHLINE」のプロトタイプを開発**
—写真とプロフィールの入力だけで自分が自己紹介ラップを披露する“デジタル名刺”を生成、
AI 時代の新しい交流の創造へ—

株式会社博報堂DYホールディングス（本社：東京都港区、代表取締役社長：水島正幸）のグループ横断型の研究開発組織「Creative technology lab beat」（クリエイティブ・テクノロジー・ラボ・ビート 以下 beat）は、生成 AI 技術を活用し、ユーザーが写真のアップロードと簡単なプロフィールを入力するだけで、自分が自己紹介をラップで披露する動画を生成できるコミュニケーション促進サービス「AI ラップ名刺 MY PUNCHLINE」（以下、「AI ラップ名刺」）のプロトタイプを開発しました。

> コンセプトムービーはこちら：<https://youtu.be/LvhyAhrO7k4>



生成 AI 技術を活用したテキスト生成 AI や画像生成 AI の進化は、ビジネスやクリエイティブシーンへ急速な広がりを見せています。博報堂DYグループでは、クリエイティブとテクノロジーを掛け合わせ、世の中を魅了する体験価値の提供を目標に、生成 AI 技術をクリエイティブ業務への活用から生活者の日常シーンへも拡張し、新しい体験創造となる活用を目指し、映像生成 AI 技術、テキスト生成 AI 技術の研究開発を行ってきました。

この度プロトタイプを発表する「AI ラップ名刺」は、AI 時代の生活者の新しい交流の創造を目的に、beat の一翼を担う博報堂DYメディアパートナーズが中心となり企画・開発されました。beat がイスラエルの D-ID 社と共同開発し昨年 5 月に提供開始した生成 AI 技術による映像自動生成システム「H-AI NARRATIVE」の技術と、株式会社博報堂の研究機関「UNIVERSITY of CREATIVITY」が保有する、ラップらしい音声合成や韻を踏んだ歌詞生成を可能にする「AI ラッパー」を統合することで実現しました。

< 「AI ラップ名刺」 プロトタイプ の概要 >

- ・自分のプロフィールを入力し、写真をアップロードするだけで、自己紹介が歌詞になったラップを自分が披露する“デジタル名刺”が生成される
- ・歌詞はプロフィールをもとにAIが考案し、「パンチライン（印象的なフレーズ）」を繰り出す
- ・歌詞は音声だけでなく、モーションリリックとして動画に合成される
- ・生成された“デジタル名刺”は、スマートフォンのQRコード読み取りでユーザー同士の交換・アーカイブができる
- ・ラップのBGM、男性・女性ボイスの選択など、複数のパターンで生成が可能



プロフィール入力

リリック生成

写真アップロード

ラップ名刺が完成！

保存 & 交換

「AI ラップ名刺」は、ビジネスコミュニケーションツールとしての導入の他、入社式など企業内イベントでのインナーコミュニケーション、採用広報など、様々な機会を活用ができるものと考えています。また、AI ラップ生成システムを活用しラップをカスタマイズすることで、名刺作成以外の多様な用途での活用も期待されます。

beatでは、プロトタイプの利用から得られるフィードバックをもとに、今後も「AI ラップ名刺」の機能開発やサービス性の向上を目指して改良を進めます。また、博報堂D Yグループ全体では人とAIが共創するクリエイティビティ・プラットフォームの創出を目指し、先端的なサービス開発を追求してまいります。

本件に関するお問い合わせ

株式会社博報堂D Yホールディングス グループ広報・IR室 三矢・河村

TEL:03-6441-9062 e-mail:koho.mail@hakuodo.co.jp

【参考資料】

■Creative technology lab beat について

クリエイティブ領域における AI 技術の産学連携の学術研究からプロダクト開発、クリエイティブ業務のワークスタイル変革までを担う、博報堂 D Y グループ横断型の研究開発組織。産学連携の学術研究やテキスト認識、動画認識、画像認識、3DCG などの自動生成 AI ツールの開発、クリエイティブ制作業務のワークスタイル研究を進め、世の中を魅了するクリエイティブを生み出し、生活者や社会にとって魅力的なコミュニケーション体験を提供してまいります。

beat Web サイト：<https://ctl-beat.com/>

■H-AI NARRATIVE について

「H-AI NARRATIVE」は博報堂 D Y メディアパートナーズが開発した、生成 AI 技術を活用した静止画から動画への変換、その動画と映像素材を統合するための合成、完成した動画を各ソーシャルメディアプラットフォームに投稿するためのアウトプットを行うシステム。一連の作業をクラウド上で迅速に行い、よりパーソナライズされたコンテンツを提供してユーザー体験を進化させ、企業のキャンペーンプロモーションや SNS の運用支援に貢献します。

■AI ラッパーについて

AI×ラップで人の創造性の拡張を目指すプロジェクト。博報堂の創造性に関する研究機関

「UNIVERSITY of CREATIVITY」では、ラップという言葉とリズムを掛け合わせて表現する人間のクリエイティブな行為に着目し、そのスキルを論理的に要素分解、アルゴリズムに落とし、ラップに触れたことがなくても利用できる AI システムとして開発してきました。新聞社と連携することで、記事をラップ音声化し若年層へ届ける取り組みも行っています。また、韻検索、歌詞生成、譜割生成、音声合成、音声認識のシステムを連動させ、人とのラップセッションや、無限にラップを生成することも可能としています。